

2025年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2025年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本史 専攻分野)

左の問1～問2のうちから1問を選択して解答せよ。

問1 修士論文の研究成果について日本近世史研究における意義を踏まえて述べ、さらに博士論文の構想とそれが研究史に対して与える積極的意義について、具体的に論述せよ。

問2 自らのこれまでの研究成果を説明せよ。また、博士論文で解明しようとしている内容について具体的に説明せよ。そして、これまでの成果と博士論文の関係について説明し、博士論文の作成計画を詳細に説明せよ。

また、これまでの研究成果と博士論文の内容は、今後の近現代史研究全体の研究動向に対して、どのような意義を与えるものになるのか、さらに、そのことが歴史研究全般において、いかなる新しい歴史像を提起できると考えているのか、論述せよ。

問 () * () に番号を記入する。(1)

受験記号番号

3 / 4

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

